

豊栄地区公民館運営審議会 会議概要

令和5年度 第2回豊栄地区公民館運営審議会			
開催日時	令和6年1月31日（水曜） 午後1時30分～午後4時15分		
会場	豊栄地区公民館 3階 大講堂		
出席者	委員	石黒委員、梅津委員、大原委員、神田委員、倉島委員、栗原委員、玉井委員、土田委員、マルシェフ委員、渡辺委員 計10人 *敬称略	
	事務局	豊栄地区公民館	渡辺館長、尾崎主任、佐藤主査、小池主査、丸山（亜）
		北地区公民館	岩本館長、天尾主査
<p>1 開会</p> <p>2 館長あいさつ 渡辺館長</p> <p>3 議題</p> <p>(1)「令和5年度事業経過報告について」</p> <p>ア「豊栄地区公民館事業経過報告」</p> <p>令和5年度豊栄地区公民館運営審議会資料に基づき、豊栄地区公民館分について事務局から報告を行いました。</p> <p>【質疑・意見等】</p> <p>(栗原委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ご近所だんぎ」に参加して、準備から片付けまで職員ががんばっている。新潟医療福祉大とともにやっているところもよい。中学生を交えたらなおよい。 <p>(梅津委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシへの工夫が感じられた。「ご近所だんぎ」の参加者の固定はどうか。また、「ゆりかご学級」の参加人数は。幼児期家庭教育学級の「ペアレントプログラム」のきっかけ、参加者のお子さんの年齢及び発達障害の方は含まれるか、について伺いたい。 <p>(佐藤主査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ご近所だんぎ」の参加者アンケートに次回の参加希望の欄があり、併せて広報をおこなっている。新規の参加者も見られる。 <p>(丸山)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆりかご学級1期は13名、3期は10名の参加。保育の上限は10名だが、保育の必要ない方は上限なく受け入れることができる。 ・「ペアレントプログラム」は3歳から5歳のお子さんの保護者が参加した。発達障害をお持ちのお子さんの保護者も参加したが、障害の有無に関わらず親子の関わりについて学ぶ講座内容。きっかけは、講師に講座内容を相談した際に勧めがあり、ふさわしい内容だったため決定した。 			

(神田委員)

- ・ 公民館移転の説明があったが、以前の公民館から、区役所の3階に移動して遠くなった。展示する団体の意見、感想はどうか。

(佐藤主査)

- ・ 展示事業に関して3階に上がってさらに奥の場所という遠さや、常設展でない表示の難しさがあり、わかりづらいと意見をいただいている。

(渡辺館長)

- ・ 移転してからの課題であり、庁内放送など工夫改善を重ねている。来年度秋に「星野富弘展」を予定している。20年程前に旧館で開催した実行委員会から依頼があったもので、1万5千人が来場したとのこと。多くの方に足をお運びいただく機会となることを期待。

(栗原委員)

- ・ チラシを自治会に送付してはどうか。また3階も億劫ときく。

(玉井委員)

- ・ チラシについて、待っているときに目に入りやすい、順番待ちの場で目の届くところに置くなど。
- ・ 「女性セミナー」で男性の参加者があったとのこと、名称の変更を検討してはどうか。

(丸山)

- ・ 男女共同参画による名称だが、変更も含め検討している。

(石黒委員)

- ・ 公民館の課題には、予算、高齢化の影響、区役所の中の公民館の難しさなどあると思うが、利用者が戻って来ていることにその必要性を感じる。
- ・ また、1万5千人ほどが来る規模となると、やり方の工夫が必要ではないか。
- ・ そして公民館に来るだけでなく、公民館から出ていく新しい形、移動公民館など、小中学生でも楽しめる講座を学校で開催できたらと思う。
- ・ 部活動の地域移行について、美術部が小学校と連携して看板を作成した。子供たちはポスターを見てもらえることで喜ぶ。そういった取り組みに声をかけてもらえないか、吹奏楽部も中学校合同で参加するなど。
- ・ チラシ設置の件については、スーパーやコミュニティセンターなどはどうか。

(丸山)

- ・ 原信の豊栄店にポスターA4サイズを貼らせていただいている。公民館活動協力店や東イオンにもチラシを置いているが、さらに良い案があれば工夫したい。

(尾崎主任)

- ・ 自治会回覧は負担の声もあり、特別な場合を除き、認められていない。コミュニティ協議会などは検討できる。

(マルシェフ委員)

- ・ チラシについて、すべてのトイレに貼るなど動きの止まる場所に掲示をしたらよい。
- ・ また、南浜で同じ講座を出張開催できないか。

(岩本館長)

- ・ 公民館活動協力員の計画した講座を南浜、濁川公民館で開催している。

(梅津委員)

- ・移動公民館について、賛成。少ない人数で大変かもしれないが、公民館活動協力員さんの手をかりてぜひお願いしたい。不登校や孤独な子育て、虐待の問題など、保護者や地域の方々と連携し、どうにか解決できないものか。

(渡辺館長)

- ・公民館の事業は中学生からの関わりが途絶え、保護者の方も同様な状況にある。昨年、北区中学校コーディネーター研修会で公民館の課題の共有を図ることができたが、さらに現状の課題も明確になった。今後も中学生、保護者、地域の方がともに学校や地域で学ぶ姿をイメージし、取り組んでいく。

(土田議長)

- ・運営審議会の豊栄地区公民館経過報告のまとめについては、「ご近所だんぎ」「ペアレントプログラム」、「公民館での展示」について質疑があった。
- ・また、部活動への依頼や「女性セミナー」の名称検討、チラシを置く場所について意見があった。
- ・移動公民館など、地域につなげていく公民館、星野富広展をきっかけに公民館の存在が広まっていくことを今後の検討事項として意見とする。

イ「北地区公民館事業経過報告」

令和 5 年度北地区公民館運営審議会資料に基づき、北地区公民館分について事務局から報告を行いました。

(梅津委員)

- ・「人権啓発講演会」への成人の参加、保護者、地域の方はどうだったか。

(岩本館長)

- ・参加者は一人だった。松浜地区の自治会を通して案内してもらったが難しかった。保護者の方にも聞いていただきたかったが、残念な結果となった。

(マルシェフ委員)

- ・大夫浜小でも開催したが、中学生を対象にしたのがよかった。

(土田議長)

- ・中学生を対象とした講座はほかには。

(岩本館長)

- ・「ジュニアワンダーランド」で 2 回あるうちの 1 回を小学生と合わせ、クラス分けをして開催した。

(倉島委員)

- ・「人権啓発講演会」は学校行事との兼ね合いから休みがとりづらく、参加できなかったと聞く。日程の段階で学校行事を参考に、もう少し早めに案内をしていただくと助かる。公民館で、ZOOM で視聴できるような検討を望む。

(岩本館長)

- ・新年度の事業で、ご意見を参考にさせていただきます。

(大原委員)

- ・チラシに QR コードがあると申し込み易い。
- ・長岡工業高等専門学校の先生による夏休みの講座はいい内容だと思う。子どもの好奇心を喚起することが大事。こどもの未来を考えていると参考になった。
- ・北区の財産である、新潟医療福祉大学の部活体験会があったが、移動手段があ

るとよい。(公民館事業ではないが)

(渡辺委員)

- ・告知も紙から ICT への過渡期であり、講座も一部 ZOOM になり参加が容易になる。
- ・豊栄地区公民館が区役所の 3 階に移転したことへの課題とあるが、人口減少からすると建物を維持していくことが困難だと思う。逆に区役所に来れば、公民館があり、公民館には何かがあると、少し時間がた経てばわかっていくのでは。
- ・庁内の調整が大変であり、庁外のコミュニケーションにも苦労とのこと、一方「ゆりかご学級」について健康福祉課と連携して確実に案内が届くように、とは大事なこと、庁内にあるからこそ連携が生かせる点と感じた。
- ・星野富広展、当時を思い出した。企画が全て、何をすることが本当に大事である。「福祉ってなあに？」では参加が少なく、「びりびり・ばちばち静電気の不思議を体感」は大勢が参加していることから、内容がわかりやすい講座名をつけることも大切か。

(尾崎主任)

- ・庁内連携の点、健康福祉課が児童を対象としていることから、重なる部分もあり、働きかけをした。情報が届かない方への広報が大事だと思っている。

(渡辺館長)

- ・区役所の 1 階、2 階、3 階と顔の見える関係であり、公民館も区役所も互いに意識して事業を見ている。今回、健康福祉課が初めて、公民館を最大限活用した「ふゆっこまつり」を企画し、コミュニケーションが増えたことも契機の一つである。
- ・また、「公民館まつり」にいかにも人を呼び込むか、今回初めて新潟医療福祉大学のご協力で「筋肉チェック」を 1 階で、「公民館まつり」を 3 階でと回遊的な動きを作り、文化と健康の融合で新たな来場者を得ることができた。施設活用も複合化、テーマも一つでなく融合したものに取り組んでいきたい。

(土田議長)

- ・「福祉ってなあに？」は参加が少なく中止となったとのことだが、何人の希望者がいたか。

(天尾主査)

- ・3 人の参加希望があったが、学生、地域の方と協議し、スタッフのほうが大勢のため中止とした。

(倉島委員)

- ・子どものニーズ、何がささるかが難しいと思う。

(渡辺委員)

- ・学生が真面目で、自分たちの学ぶ福祉を伝えたいと思ったネーミングかと。「ポッチャってなあに？」などキャップレーズの付け方、わかりやすさが大事かと思う。

(土田議長)

- ・北地区公民館の事業のまとめについて「人権啓発講座」では準備からの働きかけを。
- ・事業の企画について、子どもたちの好奇心をくすぐる、飛びつくようなもの

	<p>を。また、来た人からニーズをつかむことも大事と思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今、「筋肉」ということばが子どもたちに人気、飛びつくものは時代が変わるが、そういうことばを拾った企画は大事。 ・QRコードは、参加し易く工夫されており、庁内連携、公民館連携でZOOMなど来れない方への企画をお願いしたい。 <p>4 その他</p> <p>(1) 公民館等に関する情報共有・意見交換 (渡辺館長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業報告の冒頭で、事業の継続にあたり様々な課題をお伝えしたが「北区音楽祭」に限り、あり方を見直したいと思っている。豊栄市時代の開催から38年が経ち、昭和61年当時は文化行政を公民館が中心に担っていたと見受けられる。平成22年には、北区文化会館が市民の文化芸術活動の発展に資するものとして設置された。豊栄地区公民館を利用される団体の発表の場としての「公民館まつり」とは対象も目的も異なり、北区全域、音楽活動される方ならどなたでもと、公民館の範疇を超えた事業となった。社会的役割を終えて予算、人員削減のなか、北区文化会館で継続可能であり、協力という形で関わってきたい。決定ではなく、これから指定管理者、実行委員会とも話し合いを予定していることを報告させていただく。 <p>(2) 豊栄地区公民館運営審議会委員の継続について (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の内容は、会議概要としてまとめさせていただき、みなさまより後日確認をお願いしたい。 ・次回の審議会は、7月頃を予定としており、5月頃日程調整をさせていただきたい。 <p>5 閉会</p>
傍聴者	0人
会議資料等	<p>第9期第2回 豊栄地区公民館運営審議会 次第 令和5年度 豊栄地区公民館運営審議会資料 別冊参考資料（豊栄地区公民館と北地区公民館分）</p>